

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2020 年 11 月号

NO. 323

TOPICS

「PR ニューノーマルを模索した激動の 2020」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 吉柳 さおり

MESSAGE P4

オンラインイベント:PRSJ40 周年記念フォーラムを 11 月 13 日(金)開催!!

ATTENTION P5

『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2021』を刊行

ATTENTION P6

「新任広報部長講座 2020」をオンラインで開講

ATTENTION P7

「広報・PRスキルアップ実践講座」特別編 2講座

「コロナ時代の広報・PRを考える」を開講

ATTENTION P8

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー
5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:畔柳 一典

11月号目次

11月～12月のスケジュール	—	2
MESSAGE(メッセージ)	「PRニューノーマルを模索した激動の2020」	— 4
ATTENTION(お知らせ)	オンラインイベント:PRSJ40周年記念フォーラムを11月13日(金)開催！！	— 5
”	『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2021』を刊行	— 6
”	「新任広報部長講座2020」をオンラインで開講	— 7
”	広報・PRスキルアップ実践講座 特別編2講座 「コロナ時代の広報・PRを考える」を開講	— 8
BULLETIN(活動報告)	第3回「企業部会総会」を10月16日に開催(正会員・個人会員限定)	— 10
REPORT(講演レポート)	第208回定例研究会(正会員・個人会員限定)	— 11
協会掲載記事	PRSJ in Media	— 12

11月～12月スケジュール

PRSJ40 周年記念フォーラム (オンライン開催)	日 時	11 月 13 日(金) 17:00～18:30
第 24 回 広報活動研究会	日 時	: 11 月 17 日(火) 14:30～16:30
	会 場	「資生堂 S/PARK Museum」訪問
広報・PRスキルアップ実践講座 2020 特別編(オンライン開催) コロナ時代の広報・PRを考える①	日 時	: 10 月中旬からオンライン配信
	テーマ	: 変わる記者会見と現場記者が望むこと
	講師	: フリーランス・ライター 三浦優子氏
コロナ時代の広報・PRを考える②	日 時	: 10 月中旬からオンライン配信
	テーマ	: ポストコロナ・リモート時代の発信力を強化する～世界最高のPR 術
	講師	: コミュニケーション・ストラテジスト/エグゼクティブ・スピーチコーチ/ (株)グローコム 代表取締役社長 岡本純子氏
新任広報部長講座 2020(オンライン開催)	日 時	: 11 月中旬～12 月 21 日(月)まで視聴可能

11月～12月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 12 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
	(12 月度)	日 時	: 12 月 10 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 未定	
教育委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 18 日 (水)	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 26 日 (木)	11:00～13:00
			: オンライン開催	
国際・交流委員会	(11 月度)	日 時	: 未定	
広報委員会	(11 月度)	日 時	11 月 26 日 (木)	16:00～17:30
			: オンライン開催	
顕彰委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 17 日 (火)	14:00～15:30
			: オンライン開催	
企業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 4 日 (水)	17:00～18:30
			: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 17 日 (火)	16:00～17:30
			: オンライン開催	

「PR ニューノーマルを模索した激動の2020」

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

理事 吉柳 さおり

早くも2020年も終わろうとしています。今年は言わずもがな広報という活動領域のみならず、様々なことがコロナウイルスによって翻弄され、まさしく激動の1年であったと思います。

広報の活動においても、広報活動の価値および広報活動の在り方がコロナウイルスによるパンデミックによって、強制的に変化を迫られ、ニューノーマルを模索する象徴的な一年であったと皆さまも感じていらっしゃると思います。

企業におけるDXも、これまで多くの企業がDXの必要性は感じていても、実際に大胆な変革に踏み出すことはできていませんでしたが、データとデジタル技術を活用した変革がこのコロナ禍において強制的に余儀なくされ急速に進みました。広報活動においても、同様に、リアルでの記者会見や取材ができない中、以前からあったデジタルシフトのニーズが強制的に変革を迫られる年であったと思います。

また、企業は現在置かれている社会的環境において、企業価値や存在意義を見直すべき年になったことだと思います。

コロナウイルスの経済的打撃の影響によるマーケティング活動の大幅な見直し、オーセンティック消費など消費行動の変化、世界的なBlack Lives Matterの抗議運動など、様々な社会的事象の影響を受け、ブランド自体の価値や企業の存在意義を見直す機会に直面しました。企業の存在意義を見直す過程で、広報・PRパーソンが経営者と議論し、社会に貢献する自分たちの意義とは何かを見直す場面も多かったのではないかと思います。PRマンが経営者と共にボードメンバーとして企業価値を作り、その上でバリューを発信していくという広報活動が、特にコーポレートブランディングにとって必要になってくるということが再認識されたのではないのでしょうか。

来たる2021年、経済状況や人々が日々感染を恐れセンシティブに暮らさなければならない状況が1日でも早く元に戻ることを望んでおりますが、このコロナ禍で生まれたニューノーマルは企業活動においても、パブリックリレーションズにおいても、戻ることなく、さらに新しい時代へと変化していくことが予想されます。引き続き協会活動において、来年も皆さんと共に新しいパブリックリレーションズの価値というものを模索していくために、私個人としても尽力していきたいと思っています。

PRSJ 設立 40 周年記念事業 PRSJ40周年記念フォーラムを11月13日(金)開催します

40 周年記念事業実行委員会

先月号でご案内したとおり、PRSJ は設立 40 周年を記念して、「PRSJ40 周年記念フォーラム」を 2020 年 11 月 13 日(金)にオンラインで開催いたします。

本イベントのテーマは「PR への期待」と「PR の持つ可能性」です。コロナ禍との共存が求められる環境下で、パブリックリレーションズの可能性について改めて議論し、発信の場といたします。

開催概要は以下の通りです。

■PRSJ40 周年記念フォーラムの開催概要

開催目的: PRSJ 設立 40 周年に当たり、「PR への期待」「PR の可能性」をテーマに、PRSJ 発のメッセージを発信することで、パブリックリレーションズの普及・発展とパブリックリレーションズへの正しい理解獲得に繋げることを目的に開催します。

開催日時: 2020 年 11 月 13 日(金) 17:00~18:30

参加方法: オンライン配信

定員: 先着 500 名

参加費: 無料

発信拠点: KIWA (東京都品川区)

主催: (公社)日本パブリックリレーションズ協会 40 周年記念事業実行委員会

協力: 寺田倉庫(株) (会場協力)

実施内容:

- ・会員調査「コロナ禍とパブリックリレーションズ」の結果発表
- ・「2020 年 PRSJ 宣言」の発表
- ・トークセッション「パブリックリレーションズへの期待と可能性」
モデレーター: 本田 哲也氏 (株)本田事務所
パネリスト : 上岡 典彦氏 (株)資生堂
同 : 飾森 亜樹子氏 (NEC)
同 : 松本 理永氏 (株)サニーサイドアップ)
- ・PRSJ40 周年記念「功労賞」受賞者の発表



『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2021』を刊行

広報委員会

「PR手帳」は協会設立以来継続して発刊され、今年度で41回目を迎えます。

11月25日(水)に書店店頭に並ぶ予定です。

この「PR手帳」は、最新のPR・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、マスコミへのアプローチに不可欠の一冊、“情報源バイブル”として、広報・PR、宣伝・販促、IR・CSRの担当者を中心に、幅広く活用されています。

内容は毎年刷新して実務により役立つ内容を充実させ、最新データに更新しています。

●主要コンテンツと掲載データ：

今を読み解くkeyword／知っておきたいFact data／「パブリックリレーションズ」の解説／部数・視聴率最新データ／PR・IR用語ミニ辞典／PR関連団体／企業の文化施設／主要メディア連絡先一覧／主要サイト一覧／記者クラブ／官公庁・各種団体／イベント会場／2021年記念日カレンダーなど

●価格：2,035円(1,850円＋税)

(正会員は1,120円(税込)表紙カバーはありません)

●販売：協会事務局、首都圏・大阪・名古屋等全国主要書店で広く販売されています。



表紙カバーデザイン

事務局では随時注文を承っており、皆さまのご利用をお待ち申し上げます。

なお、協賛広告のご出稿をいただきました会員会社各位には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

※『広報マスコミハンドブック (PR手帳) 2021』を刊行」のニュースリリースを

11月中旬ごろに配信する予定ですので、発表までは情報の取り扱いにご注意ください。

広報・PR実務講座 2020

「新任広報部長講座 2020」をオンラインで開講

～広報上級管理職の知見を身に着けるマネジメント研修～

教育委員会

協会では、広報部門を担当する上級管理職の育成を目的とする「新任広報部長講座 2020」を 11 月中旬からオンラインで開講します。

本講座は、着任から間もない広報担当役員や広報部長等を対象とし、部門を統括する上級管理職としての心構えや考え方、マネジメントスキルを学ぶマネジメント研修です。

講師には、大手日本企業の現職広報責任者、大手一般新聞社の経済部長、法的視点とともに広報的な視点を兼ね備えたベテラン弁護士をお迎えし、企業広報、メディア、法曹のそれぞれの視点からの講演によって広報の上級管理職として不可欠な知見を身に着けていただきます。

また、3つの講義に加えて、相互のコミュニケーションに役立つよう講師を交えオンラインミーティングの形で意見交換会「広報マネジメント・オンラインサロン」を開催し、今後に向けた交流を深めていただきます。

本講座の詳細ならびに受講については、11月中旬から協会 Web ページにてご案内します。上級管理職として、新たに広報マネジメントに携わるの皆さまのご参加をお待ちします。

- 開講日時：2020 年 11 月中旬（講義はオンデマンド方式により 12 月 21 日（月）まで視聴可）
- 意見交換会日程：12 月中旬を予定
- 定員：16 名
- 受講資格：企業・団体の広報担当役員、広報本部長、広報部長、もしくは準ずる方
- プログラム

内 容	講座タイトル	講 師
企業広報	広報部長の責任と役割、仕事の実際 ～広報マネジメントは何をなすべきか～	帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部長 宇佐美吉人氏
メディア	メディアから見た企業広報 ～広報部長としていかにかわるのか～	毎日新聞社 経済部長 平地 修氏
法 曹	新任広報部長が身に付けておくべき 法的リスク感覚と危機管理広報の勘どころ	西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木悠介氏
意見交換会	広報マネジメント・オンラインサロン	

■受講料（税込）

PR 協会会員(※)	PRプランナー(准・補)	一般
33,000 円	44,000 円	49,500 円

※正会員としてご入会いただいている企業・団体にお勤めの方、個人会員・准会員としてご入会いただいているご本人。

- 申込受付期間：2020 年 12 月 7 日（月）まで
- 詳細/お申込み：11 月中旬から協会ホームページにてご案内します。

(事務局 真部)

広報・PR実務講座 2020

「広報・PRスキルアップ実践講座」 特別編 2講座 「コロナ時代の広報・PRを考える」を開講

教育委員会

協会では、「ニューノーマル」の時代における広報・PRのあり方を考える「広報・PRスキルアップ実践講座」特別編2講座を、10月中旬からオンライン開講します。

2020年、世界は新たな脅威に直面しました。「Covid-19」という新型コロナウイルスはわずか数か月の間に全世界を席卷、人命を脅かすのみならず人々の交流を遮断し、この夏に開催が予定されていた東京オリンピックさえも延期の事態に追い込みました。

早期終息の期待にもかかわらずウィルスの感染は世界的な拡がりをみせ、経済や社会、ビジネスや暮らしに大きな打撃を与えています。今、人々はウィルスと共存しながら、「ニューノーマル」とも呼ばれる新たな生活様式のもとでビジネスや暮らしの再建を進めています。

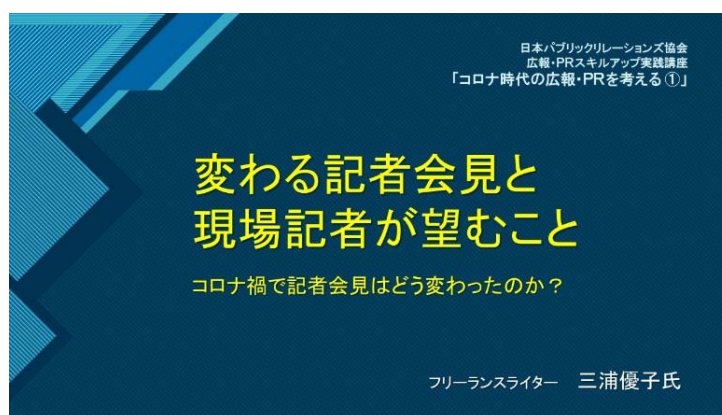
新型コロナウイルスは広報・PRの世界にも深刻な影響を与えました。メディアリレーションズの活動もこれまでとは一変、人的な接触をとまらざるを得ずリアルな記者会見や取材は激減し、オンラインを通じたメディアへの情報発信が一般化しています。広報・PR担当者はメディアのニーズを敏感にくみ取り、この時代における適切なコミュニケーション施策を真剣に考え取り組むことが不可避となりました。

また、コミュニケーション施策の全面的な再検討が求められる今、われわれはあらためてコミュニケーションとは何か、その本来の意味を考える立場に立ち返らざるを得なくなっています。他者に向けた、単なるメッセージの発信にとどまることなく、人の心を動かし共感の創出を通じて相互に好ましい関係性を構築する、適切で効果の高いコミュニケーションを如何に行うべきか真剣に考えることが重要となりました。

このたび協会では、今秋から開講する今年度の「広報・PRスキルアップ実践講座」の一環として、この時代におけるコミュニケーションのあり方を探る「コロナ時代の広報・PR」2講座をオンライン開講します。

第1回の講座では、主にIT系のメディアを舞台に活躍しているフリーランス・ライターの三浦優子氏を招き、記者会見など情報発信の手法を検討している広報・PR担当者に参考となるよう、「変わる記者会見と現場記者が望むこと」をテーマとしてご講演いただきます。

三浦氏にはニューノーマルの時代において記者会見などメディアへの情報発信の方法がどのように変わったか俯瞰いただき、そのなかで取材活動が続けるフリーランス・ライターが事態をどのように受け止めたか、そして記者やメディアが企業などで情報発信を中心的に担う広報・PR部門に何を望むか、忌憚のないお話をうかがいます。

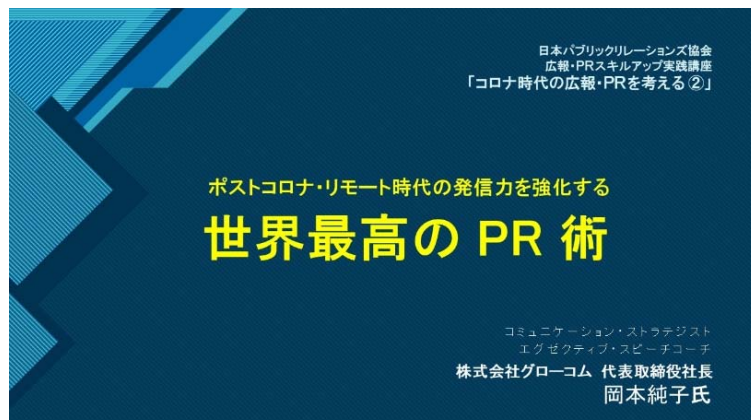


そして第2回の講座では、「伝説の家庭教師」と呼ばれエグゼクティブ・スピーチコーチ&コミュニケーション・ストラテジストとして広く活躍している岡本純子氏を迎え、「ポストコロナ・リモート時代の発信力を強化する～世界最高のPR術」をテーマにご講演いただきます。

講座では、「ニューノーマル」の時代におけるコミュニケーションの問題について確認し、コミュニケーションの有効性を高める3つのルールについてご解説いただきます。

これからのPR活動において、自身が伝えたい内容を的確に相手に伝え、いかに共感を得て効果的なコミュニケーションとして成立させるかなど、貴重なポイントを約1時間にわたってご紹介いただきます。

本講座の詳細ならびに受講については、10月中旬から協会Webページにてご案内します。この時代における広報・PRのあり方を考える会員の皆様の受講をお待ちいたします。



回	テーマ	講師	受講料(税込)	開講時期
①	変わる記者会見と現場記者が望むこと～コロナ禍で記者会見はどう変わったのか？～	フリーランス・ライター 三浦優子氏	協会会員 8,800 円 PR プランナー 資格保有者 (准・補含む) 11,500 円 一般 13,200 円	2020 年 10 月 中旬
②	ポストコロナ・リモート時代の発信力を強化する～世界最高のPR術	コミュニケーション・ストラテジスト/エグゼクティブ・スピーチコーチ/(株)グローコム 代表取締役社長 岡本純子氏		

(事務局・真部)

正会員・個人会員限定

第3回「企業部会総会」を10月16日に開催 —会員交流の活性化を目的に、年次総会をオンラインで実施—

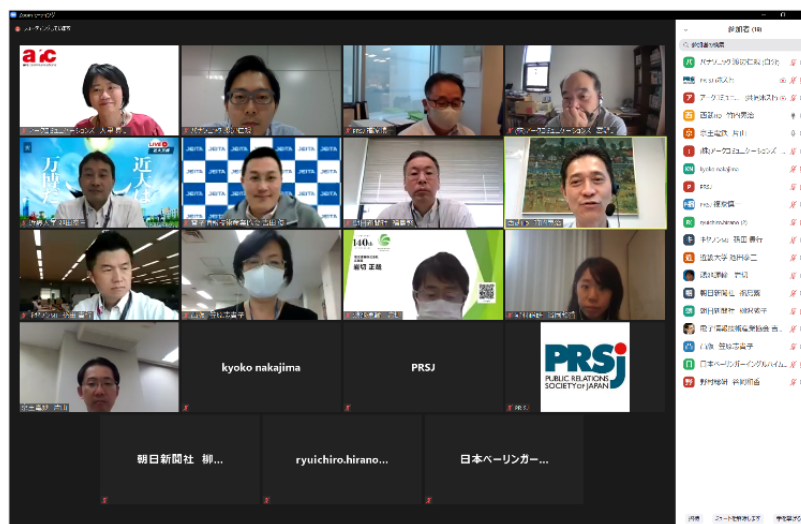
企業部会

企業部会では、会員企業の相互の交流をさらに活性化すべく、第3回「企業部会総会」を10月16日にオンラインで初めて開催しました。

企業部会は、一般企業の広報部門に所属する方はもちろんのこと、広くPR業務に知識や関心を持つ方を対象に、広報担当者に共通する課題やテーマを積極的に取り上げながら、情報交換や人脈作りの場を提供し、研究会活動を通じて会員企業の皆さまの知識・スキルの向上に寄与する取り組みを行っています。

企業部会総会は、このような取り組みをさらに加速し、幅広い会員の皆さまへの有益な情報提供と企業部会会員相互の交流をはかるべく開催されました。

3回目となる企業部会総会でしたが、新型コロナウイルス感染症を鑑み、初のオンライン(zoom)での開催となりました。平日の15時30分からの開催でしたが、多数のご応募をいただきました。当日は飛び入り参加を含む、16社19名のご参加をいただきました。



正会員・個人会員限定

第208回定例研究会

「ハフポスト日本版」がめざす これからのニュースメディア

～デジタル時代におけるニュースメディアの近未来を探る～

講 師：ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン株式会社
取締役CEO 崎川真澄氏

第 208 回定例研究会（9 月度）は、11 月 24 日（木）、オンラインでで開催しました。講師はザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン株式会社 崎川真澄氏。テーマは「ハフポスト日本版」がめざすこれからのニュースメディア～デジタル時代におけるニュースメディアの近未来を探る～でした。



PRSJ in Media

● 10月30日（水） 『月刊広報会議』12月号

『月刊広報会議』12月号における当協会の連載コラムで、幅広いテーマで複数のセッションを実施している協会の取組みが紹介されました。

まず本コラムでは、9月11日にZoomを使用しオンライン形式で実施した「広報ゼミ」について解説されました。本ゼミは「インターナル・コミュニケーション」テーマに開催され、パネルディスカッションや情報交換が多数の会員の参加のもとに行われたことに触れられています。

あわせて、9月28日、29日、10月2日の3日間にわたりオンライン開催された「PR Professional Meeting 2020～10年後のPR産業を考える～」について触れ、キーノートセッションと5つのトークセッションが開催され、特にトークセッションでは毎回100人以上の参加があったことが紹介されています。

最後には、今後、協会がオンライン化の取組を積極的に進めることが語られ、本コラムが締め括られています。

● 10月30日（水） 『月刊広報会議』12月号

『月刊広報会議』12月号における「おすすめ新刊書籍ピックアップ！」のコーナーで、当協会編の新刊「広報の仕掛け人たち～顧客の課題・社会課題の解決に挑むPRパーソン」の刊行が紹介されました。

記事では、本書の「はじめに」から抜粋の形で、刊行の趣旨、協会に加盟するPR会社の多様な取組み事例、本書刊行への期待などで構成されている本書の概要に触れられています。

● 10月30日（水） 『月刊ブレーン』12月号

『月刊ブレーン』12月号における「おすすめ新刊書籍ピックアップ！」のコーナーで、当協会編の新刊「広報の仕掛け人たち～顧客の課題・社会課題の解決に挑むPRパーソン」の刊行が紹介されました。

記事では、本書の「はじめに」から抜粋の形で、刊行の趣旨、協会に加盟するPR会社の多様な取組み事例、本書刊行への期待などで構成されている本書の概要に触れられています。

（注：本記事は、前項の『月刊広報会議』12月号の掲載内容と同一です。）

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会

E メール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載